

報告者：青木 祐実(移住定住担当)



「特別展 風光るまち大田原の魅力」に出展しました。

当日は、来場者へ大田原市の暮らしに関するパンフレットやチラシ、ノベルティを配布しながら、市の魅力をPRしました。住まいや通学に不安を抱える学生や保護者の方々には、比較的家賃が安いことや、市内では路線バスを利用して通学する学生もいることなど、大田原での暮らしについて紹介しました。私自身が国際医療福

祉大学の卒業生であることから、学生時代の経験も交えてお話しすることで、入学後の生活を、より具体的にイメージしていただけたと思います。市への理解や関心を深めていただき、将来的な移住・定住につながるきっかけづくりとなる有意義な活動となりました。

会場では、「大関和」のパネル展示や観光協会、市内のパン店・和菓子店・カフェなどの出店もあり、多くの来場者でにぎわいました。



なす風土記ものがたり vol.75

問 なす風土記の丘湯津上資料館
TEL 0287-98-3322

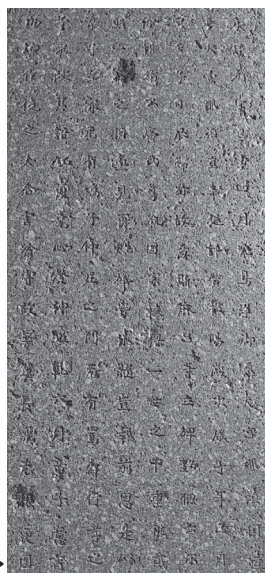
なすのくにのみやつこのひ
国宝・那須国造碑の字体

栃木県北唯一の国宝・那須国造碑(笠石神社蔵)は、西暦700年頃に建立された石碑です。石碑でも異例な国宝(古文書)として登録されています。碑文は152文字で構成され、冒頭には「永昌元年」(西暦689年)という、唐や新羅で使われた年号が記されていること、碑文の難解さや碑の形などから総合的に見ると、渡来人が建立に関わったと考えられています。

碑文の最大の特徴は、六朝風という、3～6世紀の中国の書風であることです。中国の南北朝時代(六朝時代)、特に北魏の石碑には力強く角張った線と鋭い払いが融合した楷書体が見られます。この書風は「六朝楷書」と呼ばれ、北朝において急速に発展を遂げた独特の書体で、現在の楷書体の原型と言われています。具体的には

角張った力強い「方筆」と、丸みを帯びた「円筆」が混在します。波打つような筆致や力強い点画(楷書と隸書の間絶的な美しさ)をもつ装飾的な文字が特徴です。

こうした「六朝風」または「北魏風」の書体をもつ石碑は日本でも非常に珍しく、書道史および歴史上重要な石碑として、「日本三古碑」の一つに選ばれています。



那須国造碑の碑文▶

知って得するくらし情報 vol.52

問 生活環境課 本2階
TEL 0287-23-8832

大田原市デマンド交通(らくらく与一号)をぜひご利用ください

親園・野崎・佐久山地区および湯津上・黒羽地区では、「乗り合い」によって送迎する「デマンド交通(らくらく与一号)」が運行しています。運行する地区にお住まいの方は、自宅近くの乗降所から指定の行き先(当該地区の登録された病院、店舗、飲食店、銀行、公共施設など)



まで行くことができますので、ぜひご利用ください。

利用する場合は、**事前に登録と利用の予約が必要**です。

◀らくらく与一号

【事前登録】

●登録方法▶右記二次元コードからWeb登録、または、「大田原市デマンド交通利用登録票」を提出



親園・野崎・佐久山地区

湯津上・黒羽地区

●登録票の受付窓口

生活環境課、湯津上庁舎、黒羽庁舎

【利用予約】

事前登録が完了しましたら、Webから予約していただくか、予約センター(山和タクシー有限会社 TEL 0287-26-1717)へ電話し、利用する日時を予約してください。

上記二次元コードからWebで登録いただくと、利用する際もWebから予約できます。

※登録完了まで数日かかる場合があります。詳細は、市HPをご覧ください。生活環境課までご相談ください。



自然観察館だより

TEL 0287-28-3251



休館日：毎週月曜(祝日を除く)、祝日の翌日(日曜を除く)
■開館時間…9:30～16:30(入館は16:00まで)

■クワガタ教室開催報告

7月11日に那須塩原市動植物調査研究会長・君島 章男 先生を講師にお招きして「クワガタ教室」を開催しました。26名の参加者は、ミヤマクワガタのオスとメスを手にして生態や飼育方法について詳しく学ぶことができました。



■秋の善勝川周辺生き物調査 参加者募集



第7回自然観察会として、秋の善勝川周辺の生き物調査を開催します。春に続いて善勝川に生息する生物や周辺にある植物を調べる善勝川シリーズ第2弾です。

- 日時 10月4日⑨ 9:00～11:30 (小雨決行)
- 場所 水辺公園お花畑駐車場(若草2丁目)
- 対象者 小学生以上(小学生は保護者同伴)
- 定員 15名(先着順)
- 講師 刑部 節 氏(大田原理科クラブ事務局長)
- 持ち物 濡れても良い服装(川に入る予定)、長靴、帽子、飲み物、タオル、筆記用具、雨具(小雨の場合)
- 申込方法 10月1日⑨16:00までに自然観察館に直接または電話で申し込み

■第2回ヘラクレス幼虫教室 参加者募集

難しい冬の幼虫の育て方について学んでみませんか。

- 日時 10月17日⑤ 10:30～11:45
- 場所 自然観察館前オープンスペース
- 対象者 小学生以上(小学生は保護者同伴)
- 定員 15名(先着順)
- 費用 1,800円(幼虫と飼育容器付)
- 講師 君島 章男 氏(那須塩原市動植物調査研究会長)
- 持ち物 筆記用具
- 申込方法 9月26日⑤～10月4日⑨ 9:30～16:00に電話で申し込み



■チョウの成長

自然観察館では、今年もオオムラサキやジャコウアゲハなどが幼虫から蛹、そして成虫へと成長していく様子を観察することができました。成長の詳細はHPをご覧ください。



■臨時および振替休館日のお知らせ

9月15日(火)～18日(金)、24日(木)、25日(金)
(21日(月)祝～23日(水)祝は開館)

詳細は自然観察館HPをご覧ください

天文館だより

TEL 0287-28-3254



休館日：毎週月曜(祝日を除く)、祝日の翌日(日曜を除く)
■開館時間…13:30～21:00(入館は20:30まで)

★星空情報★

■人類が初めて目にした月のクレーター

今年の中秋の名月は9月25日です。旧暦8月15日の十五夜に見える月を「中秋の名月」と呼び、特別美しいものとして見てきました。収穫の季節とも相まって、お供え物をし、お祝いをする風習もありました。この時の月を見上げ、「月には餅つきをしているうさぎがいる。」とも言われました。

さて、月のうさぎは、月面の黒っぽく見えるところを指しますが、ここは「海」と呼ばれます。およそ40億年前にできた深く大きなクレーターに、底部から噴出したマグマが堆積し平原となったところ。『晴れの海』や『豊かの海』などがありますが、中でも『静かの海』は、人類が初めて月面に足跡を残した場所として知られています。



今年4月、アメリカNASAが打ち上げた「オリオン」という有人宇宙船が月を周回し、帰還しました。その際に「東の海」という、裏側の巨大クレーターを確認しました。これまで、無人探査機からの観測はありましたが、実際の目視は初めてでした。

月への関心は、今後さらに深まっていきそうです。

★主なイベント(10月)★

①夜の街角観望会

- 日時 10月3日⑤ 18:00～20:30
- 場所 野崎研修センター(野崎地区公民館)
- 内容 駐車場に望遠鏡を設置し、季節の天体を観望していただきます。天文館は平常通り開館しています。

②子どものための秋の星座教室(小・中学生向け)

- 日時 10月9日(金)～14日(水) 18:10～21:00

●内容 アンドロメダ座やペガスス座など季節の星座をたどります。球状星団M15や土星を観望します。一般の方も入れます。

③月のクレーターを見よう

- 日時 10月23日(金)～25日(日) 18:10～21:00
- 内容 満月の頃の月を観望します。迫力あるクレーターの姿もご覧いただけます。

④月撮影会

- 日時 10月27日(火) 20:10～21:00
- 内容 お手持ちのビデオカメラや一眼カメラで月や月のクレーターを写します。詳しくは、天文館にお問い合わせください。



今年の土星のイメージ

詳細は天文館HPをご覧ください